

CAPネットシステムの開発について

平成12年3月7日
北陸電力株式会社

当社は、従来から業務運営の効率化とコストダウンに努めてきておりますが、電力部分自由化に対応するため、より一層の効率化を目指し、このたび事務処理の高度機械化の一環として「CAPネットシステム」の開発に着手しましたので、ご案内いたします。

1. CAPネットシステムとは

「CAPネットシステム」とは、当社の工事費積算から購買・会計に至る事務処理を「一貫して処理するシステム」で、これまでの各部門ごとの縦割りシステムだったものを、部門横断的なシステムとするものです。

このシステムにより、これまでの紙ベースでの処理や再入力処理を省く「省力化・効率化」と、全部門でのデータ共有化による「工事費の低減」を実現し、また、社内の意思決定の迅速化を図るため電子回覧システムを導入するとともに、取引先との電子取引実現のためインターネットEDI機能を付加し、より一層のコストダウンを図る計画にしております。

2. システム導入計画

平成12年度末に、購買業務等の全社共通部分と、一部積算業務の運用を開始し、13年度末に全運用を開始することとしております。

3. システム導入効果

資材購買部門の3割程度をはじめとして、工事担当箇所等においても業務省力化が図れる見込みです。また、全部門共有データベースにより情報の共有化を行い、工事費の低減も図れる見込みです。

一方、取引先も含めた総合効率化効果も期待できます。

(参考資料)

- ・CAPネットシステムの概要
- ・CAPネットシステムの概念図
- ・CAPネットシステムハードウェア構成図

以上

CAPネットシステムの概要

1. システム開発の背景

電力部分自由化を迎えるにあたり、お客さまに選択していただくためにも、低廉で品質のよい電気を提供する必要があると考えています。そのためには、より一層のコストダウンを図ることも必要です。

そこで、平成10年度に当社では、「業務の再構築(BPR)」の一つとして資材購買業務に関するWGを実施し、そこでの提案に基づき、業務のあり方と当システムの開発について検討してまいりました。

なお「CAPネットシステム」の名称は、

C : Construction (工事)

A : Accounting (会計)

P : Planning (企画)、Purchasing (購買)

の頭文字と「ネットワーク」の「ネット」から付けました。

2. これまでの業務について

当社では、これまで、工事費を算出する「積算システム」、長期的な工事計画を集約する「工事計画管理システム」、資材調達のための「購買システム」、そして経理を担当する「会計システム」、購買部門の単価情報の提供を中心とした「購買情報ネットワーク」等の各システムを個別に運用して、業務効率化等を推進してきました。

しかし、これらのシステムでは、紙(伝票・帳票)を中心としているため、人間系での再入力作業が必要であり、また、購買部門で把握した単価情報を工事部門での積算システムにタイムリーには反映することが難しい状況にあります。加えて、他の箇所・部署での同種の工事・工法を参照できないため、最初から積上げをしなければならぬ等、効率化・コストダウンを図る余地が残されていました。

3. 今回のシステムの内容

前述の課題を解決するために、以下のとおりシステム化を図ります。

- (1)紙等を介したデータの転記や再入力作業が不要となるよう、工事費積算から清算など部門間の一連の流れをシステムで連携する。
- (2)購買部門が把握した単価を各部門の積算処理で利用したり、工事部門の請求から購買部門の発注処理への反映が速やかに行われるよう、部門間情報を電子データ化し、システムでタイムリーに連携する。
- (3)他の箇所・部署での優良工事实績を参照・再利用したり、それを基にした標準工事パターンを利用した設計を行えるよう、工事实績をデータベース化する。
- (4)業務処理手続きや意志決定が速やかに行われるよう、電子回覧システムを導入する。

- (5)取引先との伝票や工事着工情報についても転記・再入力作業が不要となるよう、インターネットEDIを導入する。
- (6)関係会社との電子データ授受のため、関係会社間ネットワーク（エクストラネット）を構築する。
- (7)業務担当者が、自ら工事实績情報（優良実績）を検索したり、分析・調査を行えるよう、EUC（End User Computing）環境を構築する。

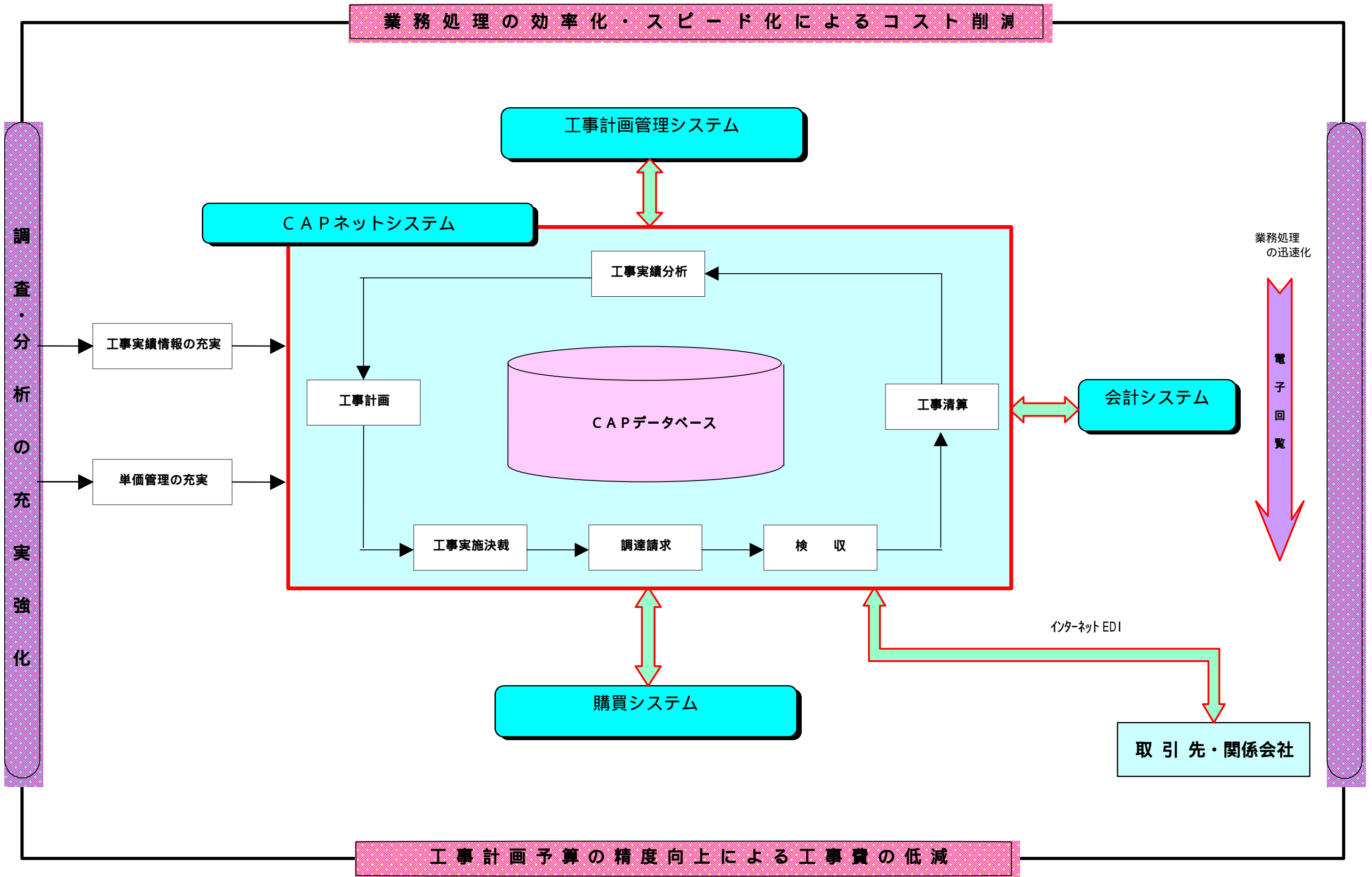
4．システムの実現方法

今回のシステムの特徴は、既存の各システムを変更することなくそのまま使用して連携します。これは、その考え方や手法が「EAI(Enterprise Application Integration)」と言われているものです。

具体的には、「工事計画管理システム」「会計・購買システム」「積算システム」「インターネットEDIシステム」等の、計算機やOSが異なる複数システムを「ソフトウェアバス」を使って連携してゆくものです。

以 上

CAPネットシステムの概念図 ~部門横断的業務処理を目指して~



C A P ネットシステム ハードウェア構成図

